

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と正社員を区別せず、均等待遇を求めよう。

均等待遇なくとも差別！

ユニオンは労働法裁判に勝利するぞ！

17春闘 第一波全国統一行動

非正規労働者のつどい 郵政本社前集会 開催

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3737
17年3月14日(火)
・Fax 095-828-1953



おはようございます。
3月5・6日、17春闘
第一波全国統一行動として
「郵政本社前集会」、「郵政
非正規労働者のつどい」を
行いました。
郵政非正規労働者のつど
いが開催された上野区民館
には、全国から70名が参
加しました。

つどいでは、日巻委員長
挨拶に続き、講師の伊藤主
一様(雇用共同アクション、
全労連雇用・労働法制局長)
より「安倍政権の働き方改
革と非正規問題」と題して
の講話がありました。
13ページにも渡る資料
が、増加し続ける非正規労
働者と正社員との格差や、
処遇、性別、雇用形態等、
まさに現代社会の働き方そ
のものの難しさを語ってい
るように感じました。私た

ち郵政の中でも、アソシエ
イト社員希望者は、対象者
約10万人に対し約8万人
希望して無い人も沢山いる
のです。この様な時代だか
らこそ、「同一労働同一賃
金」をきちんと労働者が納
得出来るような形にする事
が急務になると思っていま
す。

昨年末、政府が「同一労
働同一賃金・中間報告とガ
イドライン」を発表しまし
たが、これはILOの「同
一(価値)労働同一賃金」
原則とは別物であり、「解
雇の金銭解決制度」や他に
も多くの悪法の検討を進め
ているのが分かっています。
講師の伊藤先生も、労働
法制課題での取り組みは、
「働き方改革」の欺瞞性
を暴き、知らせる。対抗
政策・改正要求を打ち出し
て実現をせまる。職場合
意をつくる。討議と学習
をし、仲間を増やして合意
を広げよう。と締めくくっ
ています。

自分達の将来の問題です。
みなさん是非興味を持って
下さい。

その後、「郵政労契法2
0条東日本裁判」から経過
の報告がありました。
特に、2月6日の証人尋
問で、会社側証人は「期間
雇用社員と正社員とは業



郵政本社前集会

3月6日、11時より郵
政本社前集会を行い、全国
から寄せられた署名、36
525筆を持って、期間雇
用社員の代表4名一人ひと
りが「将来不安ある中で退
職金制度を作ってほしい」
など、我らの思いを直接届
けました。

特に今年は安倍政権が働
き方改革「同一労働同一賃
金」を発表した影響で関心
度も高く、多くの署名が集
まりました。署名活動を始
めてトータル240780
筆になります。
本社前集会には、郵政産
業ユニオンのほか、全労連
全労協の加盟組合から20
0名を超える同志が集まり
ました。

第三部は懇親会です。
そして今回の非正規労働
者のつどいのメインテー
マでも有ります。
全国で活動している仲
間との情報交換いやそん
な硬い話じゃなく素直に
話が出来ると雰囲気の中、
大いに盛り上がりました。
二十歳代のメンバーもい
て将来のユニオンが見え
る気がしました。



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。